PRESS RELEASE (2013/4/24)

北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学総務企画部広報課
〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目
TEL 011-706-2610　FAX 011-706-4870
E-mail: kouhou@jimu.hokudai.ac.jp
URL: http://www.hokudai.ac.jp

重要文化財「札幌農学校第２農場」の施設内部公開について（お知らせ）

施設公開の概要

１．重要文化財「札幌農学校第２農場」は冬期間の休館を終え，下記により模範家畜房と穀物庫の屋内を一般公開します。なお，建物外観や前庭は通年公開です。

日程：４月 29 日（月）～11 月３日（日）（毎日 10 時～16 時，各月第４月曜日休館，入場無料）

所在地：北海道大学札幌キャンパス内，エルムトンネルのほぼ直上（札幌市北区北 18 西７丁目）
地下鉄南北線北 18 条駅より西方向に徒歩６分

２．前庭には，北国に春を告げる「キバナノアマナ」の群落があり，例年４月下旬からいっせいに開花しはじめ，黄色い花が星のように点々と地面に咲いている様子は，はっとするほど綺麗な眺めです。

施設と展示の概要

・「札幌農学校第２農場」は，クラーク博士の大農経営構想により，明治 10 年に建築した模範家畜房（モデルバーン）や穀物庫（コーンバーン）を始めとするわが国最古の洋式農業建築群を揃え，ここから日本畑作・酪農の技術普及が進んだため，国の重要文化財，北海道産業遺産などに指定されています。

・当公開施設内には，日本全国の鍬，開拓使顧問ケプロンが明治６年までに輸入したアメリカ製畜力農具，札幌農学校が明治 30 年までに揃えた大規模酪農経営体の洋式高性能農具などを展示しています。これらを見本にして国内の農機具産業が育ちました。

・「キバナノアマナ」(アイヌ語;チカプトマ)は，和名で黄花甘菜と書く，ユリ科キバナノアマナ属の多年草です。北海道・本州中部以北の山野に自生しますが，開発等によって大きな群落が減少しています。地下に 10～15mm ほどの鱗茎(球根)があり，早春に葉と同時に花茎を形成し，根出葉は線形で厚ぼったくて柔らかいものです。４月の終わり頃から５月にかけ，花茎の先端に数個～10 個の花を咲かせます。開花直後の花は黄緑ですが，やがて黄色になります。

お問い合わせ先
北海道大学理学・生命科学事務部事務課 博物館担当
TEL: 011-706-2658　FAX:011-706-4029　E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp